

# 令和3年度 第1回 豊田市廃棄物処理施設等審査会 次第

日 時：令和3年7月8日（木）

午後1時30分～

場 所：豊田市役所 環境センター3階  
環境部会議室

## 1 あいさつ

## 2 議 事

(1) (株)相建の産業廃棄物処理施設変更許可申請の概要について

(2) その他

## 3 現地調査

### (配布資料)

○(株)相建の産業廃棄物処理施設変更許可申請の概要

別紙1 位置図

別紙2 航空写真

別紙3 計画平面図(変更前、変更後)

別紙4 設計計算書

別紙5 構造図

資料1 産業廃棄物処理施設の変更に伴う生活環境影響調査の概要

○(株)相建の変更許可申請及び生活環境影響調査の写しを綴ったファイル

# 株式会社 相建の産業廃棄物処理施設変更許可申請の概要

## 1 申請者

- (1) 名 称 株式会社 相建<sup>そうけん</sup>  
(2) 住 所 名古屋市東区東桜一丁目10番24号  
(3) 代表者氏名 代表取締役 荒賀 剛志<sup>あらが たけし</sup>

## 2 施設の設置場所

- (1) 設 置 場 所 豊田市篠原町石田苅21番始め24筆  
※自社所有13筆のほかは借地  
(2) 設 置 平成21年1月22日 (大矢開発(株)から譲受け)  
\*大矢開発(株)は、平成8年10月2日設置許可、  
平成10年4月埋立て開始

別紙参照 : 別紙1 位置図  
別紙2 航空写真

## 3 産業廃棄物処理施設の種類の

安定型最終処分場

## 4 処理する産業廃棄物の種類の

廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、  
金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の  
新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕  
物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)  
以上4品目(水銀使用製品産業廃棄物を除く。)

## 5 変更の主な内容

	変更前	変更後
処理能力	埋立面積 : 18,910㎡ 埋立容量 : 202,363㎡	埋立面積 : 24,174㎡ 埋立容量 : 224,485㎡
位置、構造等の設 置に関する計画	豊田市篠原町石田苅21番始め23筆	豊田市篠原町石田苅21番始め24筆

別紙参照 : 別紙3 計画平面図(変更前、変更後)  
別紙4 設計計算書  
別紙5 構造図

## 6 埋立容量の状況

年度	埋立量	廃棄物の内訳		
		ガラスくず及び陶磁器くず	がれき類	廃プラスチック類
R2	41,549 m <sup>3</sup>	11,517.8 m <sup>3</sup>	26,931.1 m <sup>3</sup>	3,100.5 m <sup>3</sup>
計	157,265 m <sup>3</sup>	R3.2月 現況測量を実施した残余容量 45,098 m <sup>3</sup>		

\*産業廃棄物最終処分場実績報書から (R2)

## 7 廃棄物の処理工程等

① 展開検査 → ② 重機による転圧・敷き均し → ③ 覆土、転圧

## 8 施設変更許可申請に伴う生活環境影響調査の概要

資料 1 参照 : 産業廃棄物処理施設の変更に伴う生活環境影響調査の概要

## 9 他の法令に基づく手続

- (1) 砂防法 砂防指定地内行為許可 … 変更申請手続中
- (2) 森林法 林地開発許可 … 変更申請手続中

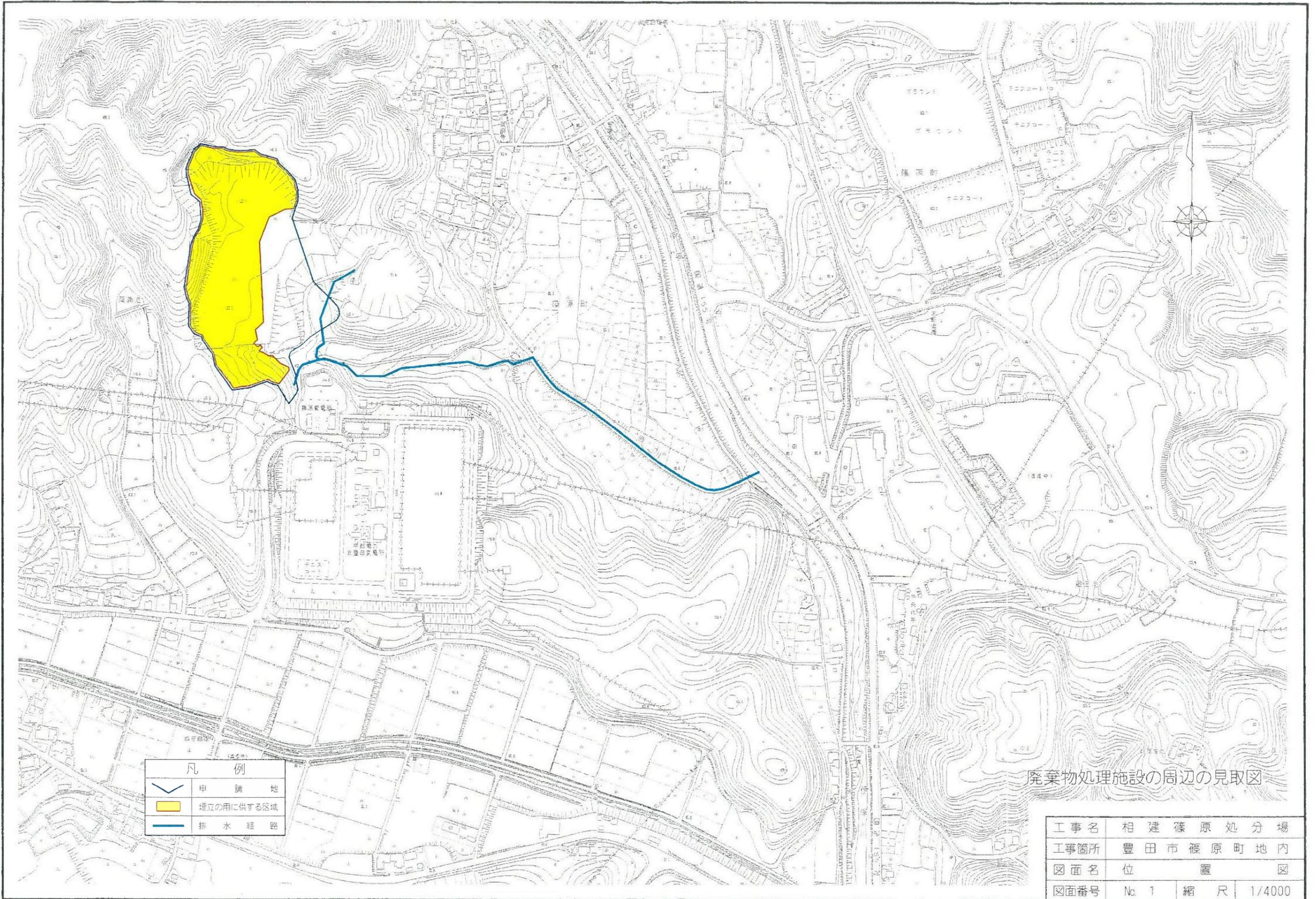
## 10 その他

### ●豊田市産業廃棄物の適正な処理の促進等に関する条例に基づく手続

事業計画等の縦覧	令和2年10月7日から 11月5日まで実施	意見書提出なし
説明会の開催	関係地域に対して、令和2年 10月31日に事業者が実施	意見、質問あり ・粉塵対策を講じて欲しい。 →作業場での散水が出来るように 対策をする。 ・音の問題はどう考えているか。 →重機は低騒音型を使用。極力、 大きな音が出ないように努める。

### ●廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく手続

変更許可申請書の受理	令和3年3月29日
変更許可申請書等の縦覧	令和3年6月9日から7月8日まで実施中



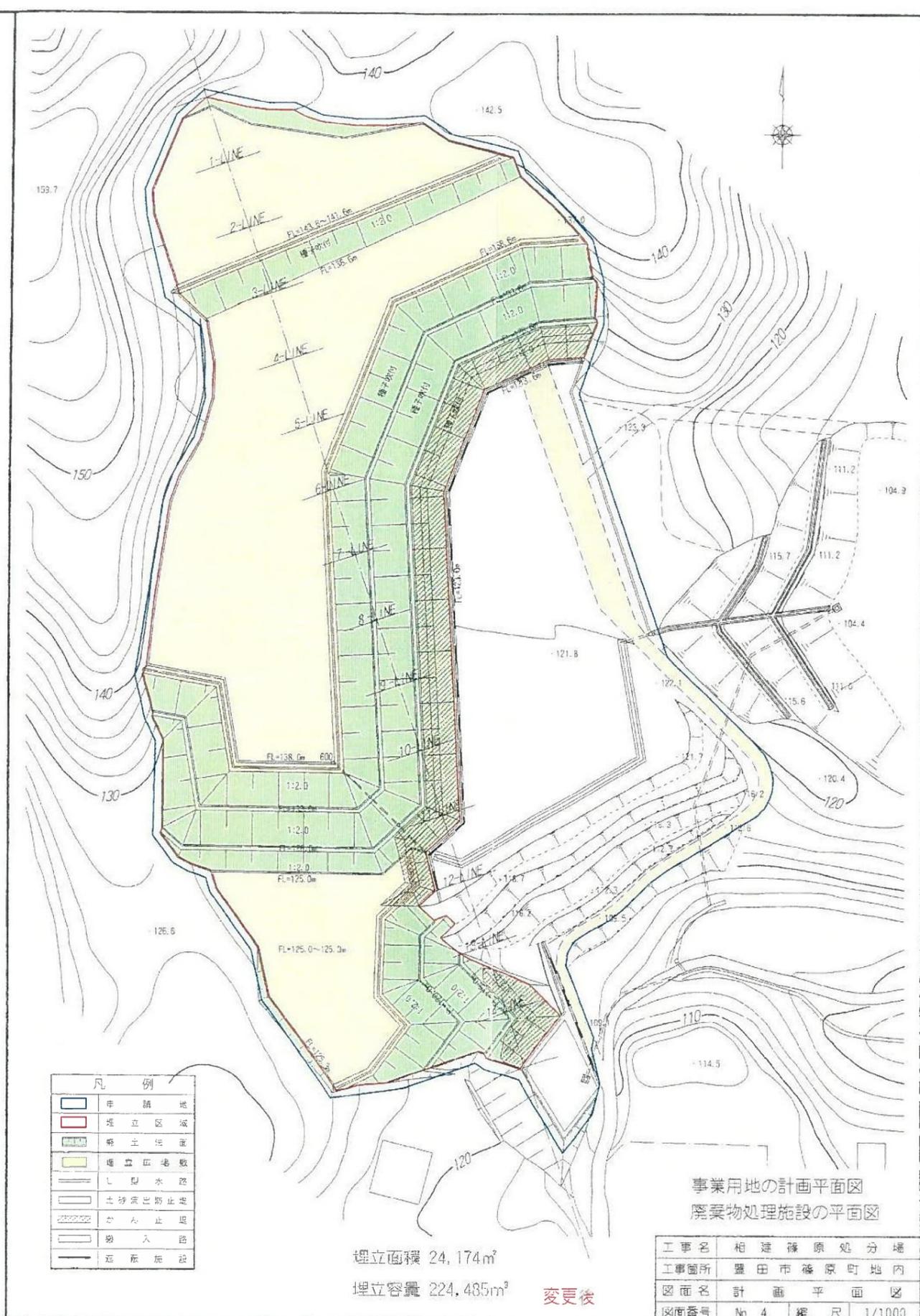
凡 例	
	申 請 地
	埋立の用に供する区域
	排 水 経 路

廃棄物処理施設の周辺の見取図

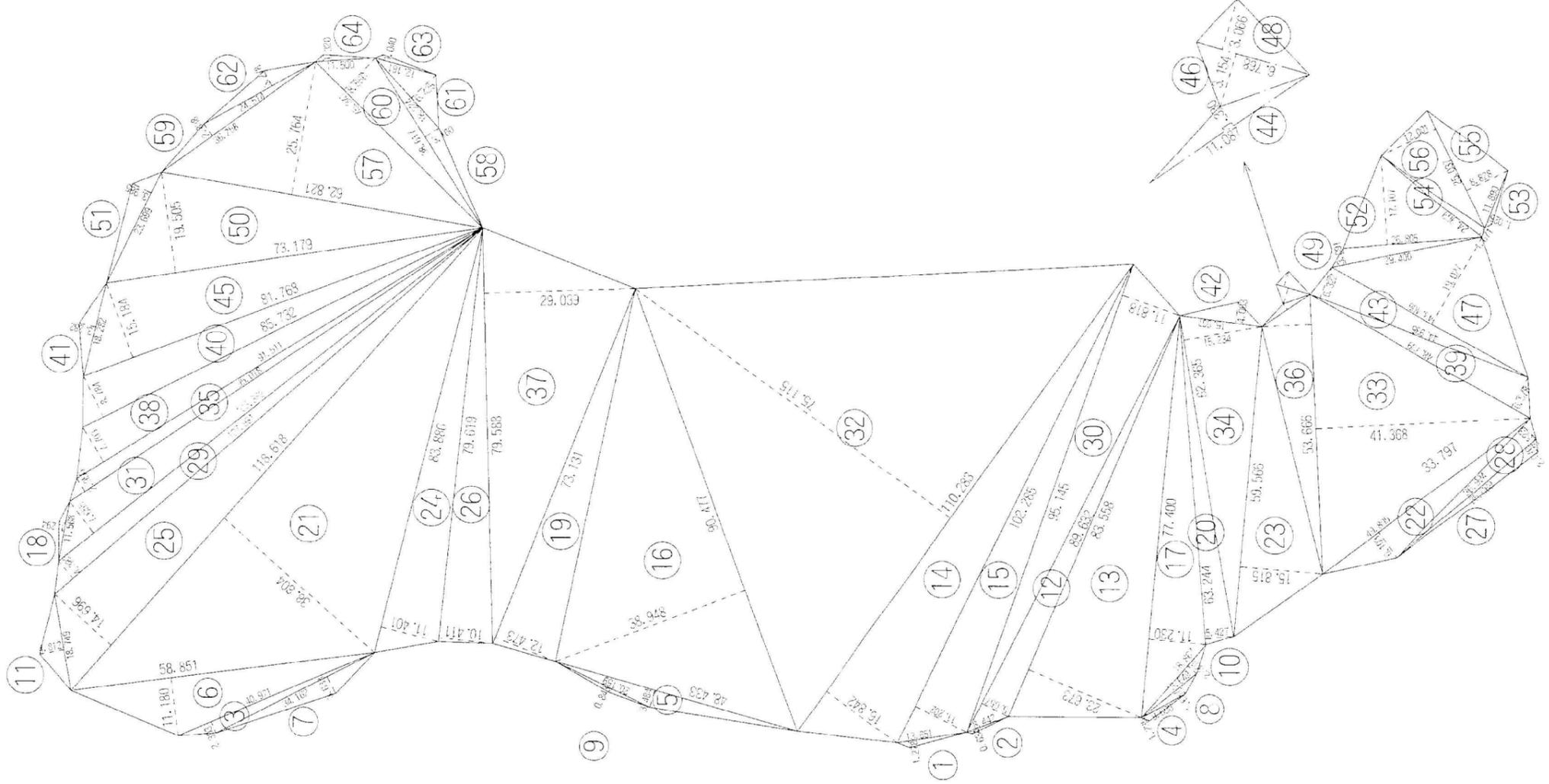
工事名	相建篠原処分場
工事箇所	豊田市篠原町地内
図面名	位 置 図
図面番号	No. 1
縮 尺	1/4000



縮尺 1 : 1500  
20 15 10 5 0 10 20 30 40 50 60 70 80



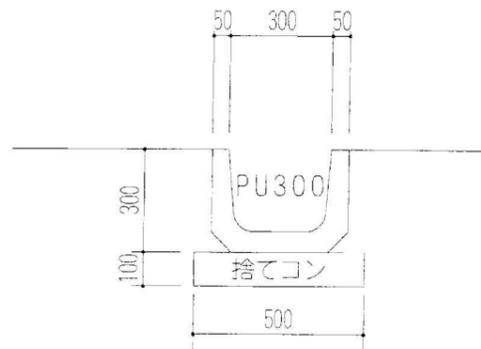
符号	底辺	高さ	面積
1	13.651	1.278	8.72
2	8.442	0.634	2.68
3	40.971	2.393	49.02
4	9.696	1.235	5.99
5	48.433	3.484	84.37
6	58.851	1.180	328.98
7	34.162	3.633	62.06
8	13.649	1.687	11.51
9	20.159	0.843	8.50
10	18.867	2.301	21.71
11	18.749	4.812	45.11
12	89.632	5.657	253.52
13	83.558	23.673	989.03
14	110.283	16.842	928.69
15	102.285	11.202	572.90
16	90.477	38.948	1761.95
17	77.400	11.230	434.60
18	11.568	1.294	7.48
19	73.151	12.473	456.08
20	63.244	5.427	171.61
21	118.618	38.804	2301.43
22	49.895	6.103	152.25
23	59.566	15.815	471.02
24	83.886	11.401	478.19
25	118.618	14.696	871.61
26	79.619	10.411	414.46
27	35.069	2.076	36.70
28	36.994	3.523	65.16
29	107.981	4.383	236.64
30	95.145	11.818	562.21
31	103.382	7.655	395.69
32	110.283	75.115	4141.95
33	53.666	41.368	1110.03
34	62.365	15.234	475.03
35	95.018	2.956	140.44
36	53.666	9.461	253.87
37	79.588	29.039	1155.58
38	91.511	7.703	352.45
39	48.739	6.578	160.30
40	85.732	8.784	376.53
41	18.282	3.282	30.00
42	15.967	4.063	32.44
43	44.935	6.322	142.04
44	11.087	1.330	7.37
45	81.768	15.184	620.78
46	6.768	3.154	10.67
47	43.406	19.027	412.94
48	6.768	3.066	10.38
49	29.400	3.091	45.44
50	73.179	19.505	713.68
51	23.699	3.985	47.22
52	26.805	17.107	229.28
53	11.890	1.026	6.10
54	24.969	1.671	20.86
55	25.037	8.828	110.51
56	25.037	12.001	150.23
57	62.821	25.764	809.26
58	38.617	3.160	61.01
59	36.258	2.838	51.45
60	45.341	8.556	193.97
61	18.224	6.425	58.54
62	24.514	3.278	40.18
63	12.161	1.040	6.32
64	11.500	1.320	7.59
合計			24174.01



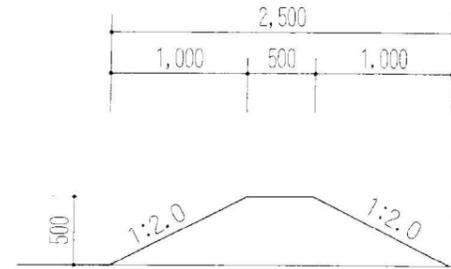
廃棄物処理施設の設計計算書

工事名	相建 篠原 処 分 場
工事箇所	豊 田 市 篠 原 町 地 内
図面名	求 積 図
図面番号	No.7-2
縮 尺	1/1000

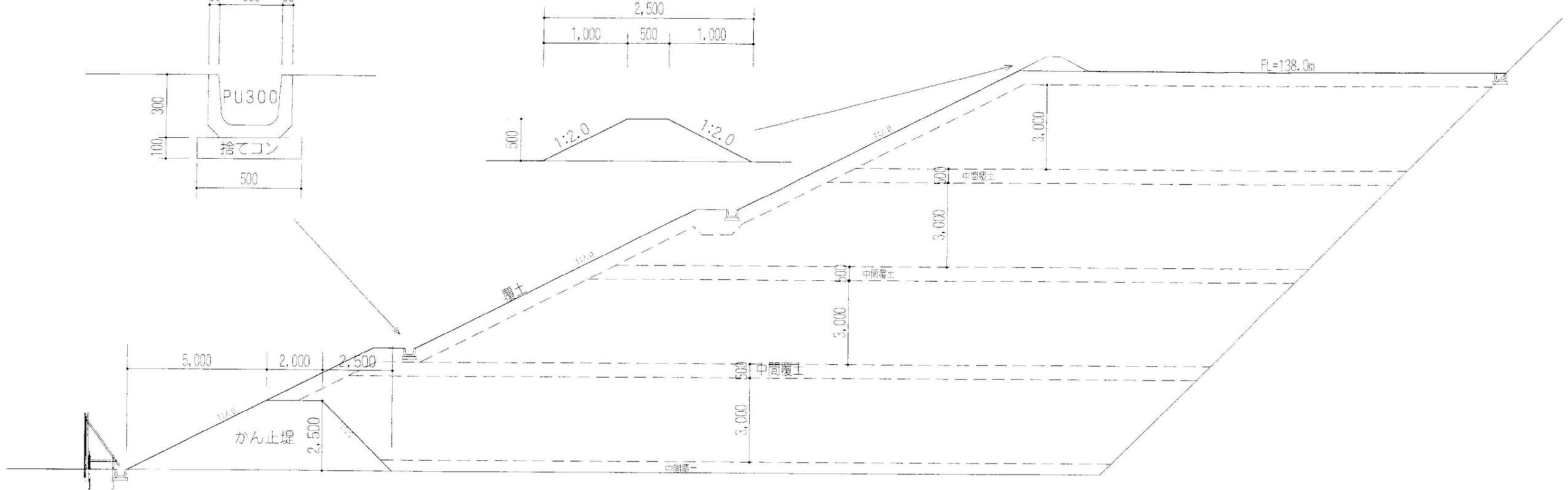
U字溝構造図 縮尺1/20



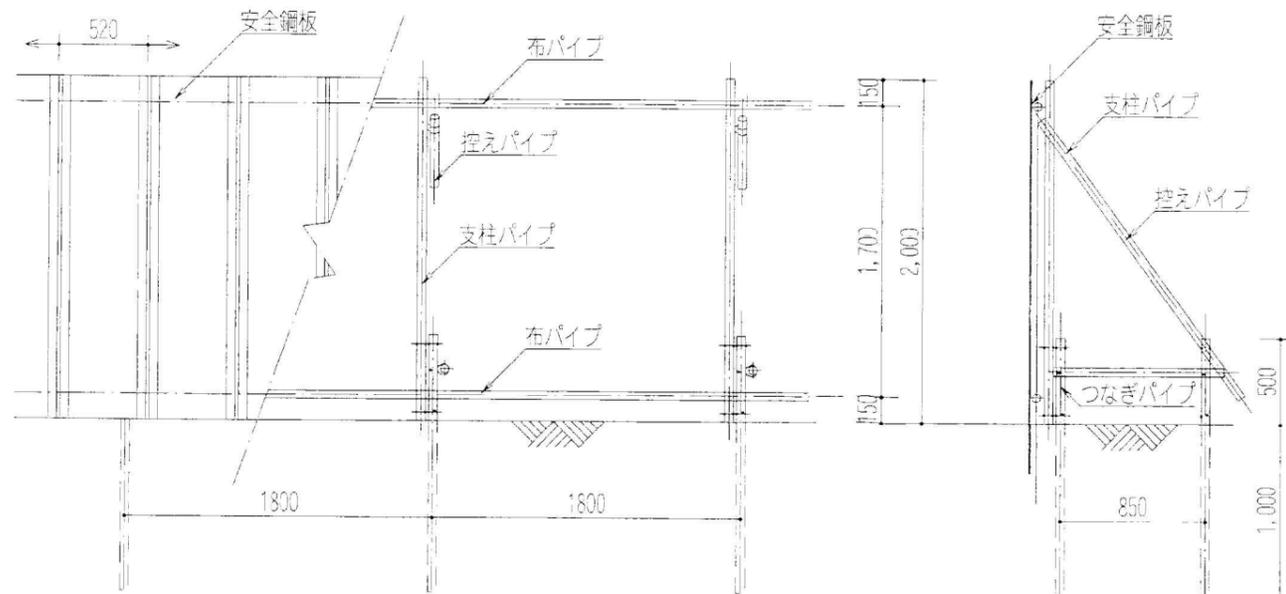
土砂流出防止堤構造図 縮尺1/50



埋立場構造図 縮尺1/150



遮蔽施設構造図 縮尺1/40



廃棄物処理施設の構造図

工事名	相 建 篠 原 処 分 場
工事箇所	豊 田 市 篠 原 町 地 内
図面名	構 造 図
図面番号	No. 8 縮 尺

## 産業廃棄物処理施設の変更に伴う生活環境影響調査の概要

## 1 廃棄物処理施設の概要

施設の種類	安定型最終処分場
処理する産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。） 、金属くず（自動車等破砕物を除く。） 、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。) 、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)以上4品目（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）
施設の処理能力	埋立面積：18,910m <sup>2</sup> → 24,319m <sup>2</sup> (実測) 埋立容量：202,363m <sup>3</sup> → 208,418m <sup>3</sup>
施設の処理方式	水平堆積法による埋立
施設稼働計画	埋立作業日：5～6日/週 稼働時間：8～17時(操業日のみ) 使用重機：2台 搬入台数：平均20台/日(操業日のみ) (現状平均13台/日) ※搬出入経路に変更はない
施設の構造及び設備	土盛堰堤：一段の高さ2.5m 外法勾配1:2.0 内法勾配1:1.0 囲い：高さ1.8m 延長196m 雨水排水路 延長1,293m

## 2 生活環境影響調査項目

「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」（平成 18 年 9 月 環境省）に基づき実施

調査事項	生活環境影響要因		施設からの浸透水の 流出または浸出液処 理施設からの処理水 の放流(陸上埋立)	最終処分場 の存在 (陸上埋立)	施設(浸出 液処理設 備)の稼働	埋立 作業	施設(埋立 地)からの 悪臭発生	廃棄物 運搬車両の 走行
	生活環境 影響調査項目							
大 気 環 境	大気質	粉じん				○		
		二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )						—
		浮遊粒子状物質(SPM)						—
	騒音	騒音レベル				○		—
	振動	振動レベル				○		—
水 環 境	水質	特定悪臭物質濃度また は臭気指数(臭気濃度)						
		生物化学的酸素要求量(BOD)	○注 1)					
		化学的酸素要求量(COD) 注 2)	—					
		全リン (T-P)						
		全窒素 (T-N)						
		ダイオキシン類						
	浮遊物質(SS)	—注 1)						
その他必要な項目								
地下水	地下水の流れ		—					

※凡例 ○：調査・予測・評価を行う項目      —：調査対象から除外した項目      空白：調査を実施しない項目

注 1) 安定型最終処分場については、浸透水が表流水系に放流される場合に限る。

注 2) 化学的酸素要求量(COD)を含む浸出液処理水を、調査対象地域の水域に放流する場合、又は COD を含む浸透水が調  
査対象地域の水域に放流される場合には、COD を調査項目として取り上げる。

### 3 生活環境影響調査の結果

#### (1) 大気質

##### ア 測定地点

令和元年6月における最多風向が概ね北寄りであることと、直近の民家までの距離、搬入経路付近であること、現地設置条件(電源位置)等を勘案して、計画地南側とした。

##### イ 粉じん濃度測定、風速階級別出現頻度の調査結果

下記表1、2のとおり

表1：粉じん濃度（浮遊粒子状物質濃度）測定結果（令和2年）

測定日	測定結果 (mg/m <sup>3</sup> )	廃棄物搬入台数	規制基準
6月23日(火)	0.015	10t車 22台	・粉じん濃度には基準値等の定めはない。 〈参考〉 ・浮遊粒子状物質(SPM)に定められた1時間値の環境基準値は0.20 mg/m <sup>3</sup>
6月24日(水)	0.026	10t車 18台	
6月25日(木)	0.012	10t車 24台	
6月26日(金)	0.024	10t車 21台	
6月27日(土)	0.020	10t車 8台	
6月28日(日)	0.007	0台	
6月29日(月)	0.016	10t車 24台	

表2：地上1mでの風速階級別出現頻度調査結果（令和2年6月23日～29日）

風速階級 (m/s)	0.4以下	0.5～0.9	1.0～1.9	2.0～2.9	3.0～3.9	4.0～4.9	5.0以上
出現頻度 (%)	22.6	48.8	23.8	4.8	0.0	0.0	0.0

##### ウ 予測結果及び評価

「風害と防風施設」(文英堂出版)によると、土壌粒子の飛散する程度は、風速及び土壌の付着水分量によって異なるが、乾燥土壌では地上1mの風速が4～5m/sで転動、5～6m/sで跳躍、6～7m/sで浮遊を開始するとされている。

ビューフォートの風力階級表によると風力階級が4以上(風速5.5m/s以上)になると砂ぼこりが立つとされており、これに準ずる風速(5.0m/s以上)になるのは、1年間で12日(3.3%)であった。また、現地調査で得られた浮遊粒子状物質(SPM)濃度は、環境基準濃度を下回る結果であった。

以上のことから、計画施設稼働による生活環境に著しい影響を与える粉じんの発生はほとんど無いと予想される。

## (2) 騒音

### ア 予測地点・範囲

影響が大きくなると想定される敷地境界線上及び直近の民家

### イ 予測条件

埋立作業を予測地点寄りで作業を行った際に与える影響がどの程度か把握するものとした。

### ウ 予測結果及び評価

寄与騒音レベルと将来騒音レベルの予測結果は表 3 のとおり。

表 3：寄与騒音レベルと将来騒音レベルの予測結果

単位：dB

予測地点	寄与騒音レベル	現況騒音レベル(暗騒音)	将来騒音レベル	規制基準等	発生源からの距離
直近民家	52.6(Leq)	48	53.9(Leq)	55(Leq) (環境基準値)	135m
No.1	77.7(L5)	46(L5)	77.7(L5)	85(L5) (騒音規制法による 騒音規制値)	19.5 m
No.2	83.1(L5)	48(L5)	83.1(L5)		10.5 m
No.3	77.7(L5)	45(L5)	77.7(L5)		19.5 m

騒音レベルは全ての地点で規制基準値を満足するものと予測された。また、直近民家地点でも環境基準値を満足するものと予測された。また、重機稼働が2台の時を想定した予想結果であるが、2台稼働は臨時的なものであることから、予測結果は安全側である。

変更計画地周辺は、将来的にも生活保全対象となる建物等が建設できる地形を呈していない。

以上のことから、計画施設稼働による騒音が周辺地域の生活環境に与える影響は軽微であると評価する。

## (3) 振動

### ア 予測地点・範囲

影響が大きくなると想定される敷地境界線上

### イ 予測条件

現地調査時に測定地点の近くで埋立作業が行われていた No. 1 地点で得られた振動レベルのうち L10 の最大値から予測計算を行った。

### ウ 予測結果及び評価

寄与振動レベルと将来振動レベルの予測結果は表 4 のとおり。

表4：寄与振動レベルと将来振動レベルの予測結果（L10）

単位：dB

予測地点	寄与振動レベル	現況振動レベル	将来振動レベル	規制基準	発生源からの距離
No.1	54.0	30	54.0	75 (振動規制基準の特定 建設作業振動基準)	19.5m
No.2	57.5	30	57.5		10.5m
No.3	54.0	30	54.0		19.5m

振動レベルは全ての地点で規制基準値を満足するものと予測され、予測された将来振動レベルも現地調査で得られた振動レベルも、人が振動を感じる事ができるといわれる55dB程度であった。また、重機稼働が2台の時を想定した予想結果であるが、2台稼働は臨時的なものであることから、予測結果は安全側である。

以上のことから、計画施設稼働による振動が周辺地域の生活環境に与える影響は軽微であると評価する。

#### (4) 水質

##### ア 予測地点・範囲

水質の影響が大きくなると想定される計画地周辺

##### イ 予測手法

埋立方法、埋め立てる廃棄物の種類に変更はなく、計画施設の稼働による水質の変化はないと思われるため、現地調査や既存資料調査で得られた水質結果をもとに予測した。

##### ウ 予測結果及び評価

計画地周縁地下水分析結果及び浸出水分析結果は表5、6、7のとおり。

表5：周縁地下水分析結果（上流側）

単位：mg/L

分析項目	採水日 2017/7/18	採水日 2018/7/13	採水日 2019/7/18	採水日 2020/6/24	環境基準
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/l 以下
全シアン	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと。
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/l 以下
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05mg/l 以下
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/l 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/l 以下
アルキル水銀	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと。
PCB	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと。
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/l 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/l 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/l 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1mg/l 以下
1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/l 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1mg/l 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/l 以下
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/l 以下
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01mg/l 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/l 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/l 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/l 以下
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/l 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/l 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/l 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/l 以下
クロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02mg/l 以下

表6：周縁地下水分析結果（下流側）

単位：mg/L

分析項目	採水日	採水日	採水日	採水日	環境基準
	2017/7/18	2018/7/13	2019/7/18	2020/6/24	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/l 以下
金シアン	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと。
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/l 以下
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05mg/l 以下
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/l 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/l 以下
アルキル水銀	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと。
P C B	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと。
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/l 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/l 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/l 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1mg/l 以下
トリス(1,2-ジクロロエチル)	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/l 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1 mg/l 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/l 以下
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/l 以下
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01mg/l 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/l 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/l 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/l 以下
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/l 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/l 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/l 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/l 以下
クロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02mg/l 以下

表7：浸出水分析結果

単位：mg/L

測定月	分析項目						基準値
	BOD						
	平成30年度		平成31年/令和元年度		令和2年		
4月	19日	4.5	18日	1.5	10日	1.8	20
5月	17日	5.0	21日	19	15日	18	
6月	15日	5.4	14日	8.9	12日	19	
7月	13日	18	18日	11			
8月	22日	14	9日	15			
9月	14日	5.9	13日	1.9			
10月	16日	18	11日	12			
11月	15日	2.5	15日	1.7			
12月	12日	2.2	13日	0.8			
1月	17日	1.7	17日	1.3			
2月	14日	1.7	12日	1.2			
3月	15日	4.8	13日	1.3			

既存資料調査及び現地調査の結果、計画地周縁の地下水は、上流・下流とも全ての項目で環境基準を下回っていた。浸出水のBODも基準値を超える月は無かった。

これらの結果より、計画地における地下水等の水質の状況は、環境基準等を超過することなく良好な状況が保たれているといえる。計画施設稼働により、埋め立てられる廃棄物に変更はなく、将来的に現状の水質が保たれると予想される。